

九州観光マスター検定試験

「九州を「住んでよし・訪れてよし」の街にするための人材育成」

福岡商工会議所 会員サービス部 企業研修グループ 大石 尚美

福岡商工会議所は、九州の観光振興に寄与する人材の育成を目的に、平成十七年度から「九州観光マスター検定試験」を実施しています。

第一回目は、平成十七年十月三十日（日）の三級試験で、一、四三三名の受験申し込みがあり、第二回目は、平成十八年三月十二日（日）の三級および二級試験で、二級七九八名、二級七二九名の受験申し込みがありました。また、受験者の年齢層は十代から七十代までと幅広く、観光に対する関心の高さがうかがえました。

これからのリーディング産業と期待される「観光」を支え、九州を盛り上げていく人材を育てるための検定試験をご紹介します。

「観光」の可能性

観光産業は、非常に裾野の広い産業です。交通運輸関係、飲食関係、宿泊関係、娯楽関係、サービス関係など、様々な業種が複合して成り立ち、旅行者が増えれば、その地域の需要の創出や、雇用の創出、地域活性化につながります。

このように経済波及効果が大きい観光産業は、国内資源の少ない日本にとって、二十一世紀のリーディング産業として期待されています。

「観光立国」にむけた国の取り組み

日本と外国との旅行者数をみると、

平成十四年に海外から日本を訪れた外国人観光客の数は、日本から海外を訪れた日本人観光客の数の四分の程度

という格差がありました。この格差を減らすために、国土交通省は、「グローバル観光戦略」を打ち出しました。また、政府においても「観光立国」実現にむけて取り組むべき施策を「観光立国基本計画」としてまとめ、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」など様々な戦略の推進が行われています。

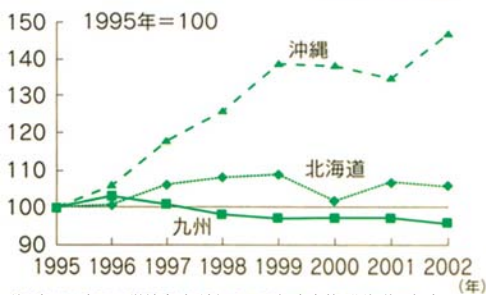
九州観光の現状

九州の観光の現状は、一九九五年から二〇〇二年の間に、沖縄や北海道で観光客数（宿泊客数）が増加している

のに対し、九州への観光客数は減少しています。これは、首都圏女性による調査結果からもみられるように、九州に行きたくなくなるようなイメージが希薄であることや、海外からの訪問希望地としての九州の順位が低い、ということなどが原因として考えられます。

また、九州は豊かな観光資源に恵まれ、人情味あふれるホスピタリティの高さを持ち、海外、とくに東アジアから距離的に近いという強みがあるにもかかわらず、それを生かききれていないというのが現状です。

九州・北海道・沖縄の宿泊客数の推移



注)九州は各県の単純合計。沖縄は入込観光客数。北海道は年度。
(資料:各県観光統計、北海道経済白書)

九州一体となった観光振興への取り組み

九州には七つの県があり、行政や各種団体など、それぞれが観光振興を推進しているところです。

このような中で、「観光」を戦略産業として発展させるために、九州が一体となって取り組む必要があるものについて、二〇〇五年に「九州観光推進機構」が発足し、旅行先としての九州を磨く等、四つの戦略を掲げ、行政と民間合同で実現を目指しています。



九州観光マスター検定試験の内容

このような国と九州での観光推進の動きの中で、福岡商工会議所は、「九州観光マスター検定試験」を創設しました。

この検定試験は、これからの九州観光発展の力となる人材を育成することを目的としています。それは、観光客をおもてなしの心を持って迎え、企

画力と適切な分析力をもって、九州の魅力を発掘すると同時に国内外に発信し、九州観光のリピーター・サポーターを確保できる人材です。

試験は、公式テキストブックを基に出題され、内容は、基本として次の五つになります。

①九州観光の動向と振興戦略

九州の観光振興を推進するために必要な九州観光の現状についての知識

②九州の観光資源

観光客が九州内の複数の地域を訪れる可能性を考慮して九州内の主な観光資源についての知識

③産業としての観光

九州内の交通網や観光における経済波及効果の知識

④観光コミュニケーション

東アジアのゲートウェイと言われ、九州から距離的に近い東アジアからの観光客を迎える際に必要な東アジアの地理・宗教・食文化、また、一般的なホスピタリティなどの知識

⑤観光マーケティング

観光客のニーズをとらえ、それを生かして魅力的な提案を企画するための知識

これらは、観光ガイド業はもちろん、九州の観光ビジネスフィールドにおいて、役立つものと考えています。

また、観光関連業の方のみならず、九州内を仕事で移動する方や、転勤で

九州に初めて来られた方などにも、九州についての知識を一度に得られる理由でお勧めしています。

また今年度から、試験会場は、福岡ほか九州内十七箇所となりました。

検定試験の級別内容

前述の五つの基礎知識が三級試験の内容となり、二級試験は、三級試験の

内容を深化、拡大しています。

二級のテキストでは、④の観光コミュニケーションにおいて、デパートやホテルなどの様々な場面で想定される韓国語と中国語の会話を紹介しています。また、⑤の観光マーケティングにおいては、プロモーション戦略やブランド化戦略について、実際の事例を紹介しながら解説することで、より実践的な内容を加えています。

なお、一級試験は、平成十九年度の実施予定で、テキストブックは、平成十九年の春頃に発売の予定です。

検定試験の境界

「九州観光マスター検定試験」は、九州観光の振興に寄与するための人材育成が目的ですが、「検定試験」には境界があります。実際、企業では、「試験で得た知識よりも、現場で覚える知識の方が大切」という声があるのも確かです。

しかし、「検定試験」を目標に、短期間で効率的に必要な用語や基礎知識を学習できるのは、検定試験の大きな利点だと考えています。また、検定試験で、ある一定レベルまでの知識向上を実現することで、視野が広がる場面もあるのではないのでしょうか。

最後に

「九州観光マスター検定試験」は、

始まったばかりです。今後、九州の観光に興味と関心を寄せ、観光振興に携わる人材を多く輩出するために、より一層の周知活動を行ってまいります。

また、合格者向けに講習会や交流会などを開催し、検定試験に合格しただけでは終わらない体制づくりを目指します。

そして、継続性と、より実践的に役立つ検定試験への進化を目標として、九州の動きや観光と向きあっていると考えています。

お問い合わせ先
福岡商工会議所企業研修グループ
電話 092(441)2189



- 【2級目次】
- (1) わが国の観光の変化と九州の取り組み
 - (2) 九州の観光資源とその広がり
 - (3) 観光コミュニケーション
 - (4) 産業としての観光
 - (5) 観光マーケティングの考え方と展開
 - (6) 観光産業におけるプロモーション戦略
 - (7) 観光地活性化におけるブランド化戦略について
- 【3級目次】
- (1) 九州観光の動向と振興戦略
 - (2) 九州の観光資源
 - (3) 産業としての観光
 - (4) 観光コミュニケーション
 - (5) 観光マーケティングの考え方

試験概要<2級・3級>※1級は平成19年度から施行予定

試験日	10月29日(日)	平成19年3月11日(日)
申込期間	8月1日～9月22日	12月12日～平成19年2月2日
申込先	インターネット、郵便振込(書店配置リーフレット同封) 紀伊国屋書店福岡本店・天神店、丸善福岡ビル店、ブックセンター クエスト小倉店・黒崎店窓口にて	
試験会場	福岡ほか九州内17箇所	
受験資格	年齢・性別・国籍等の制限なし。上位級の直接受験も可能。	
	2級	3級
受験料	4,200円(税込)	3,500円(税込)
試験時間	13:00～(2時間)	10:00～(90分)
内容	2級公式テキストブックを中心に九州の地理・歴史・観光資源・産業についての標準的知識、韓国語・中国語会話などの国際コミュニケーション能力、観光マーケティング戦略等、九州の観光ビジネスに必要な実践的能力を問います。	3級公式テキストブックを中心に九州の基礎知識、東アジアとのコミュニケーションに必要な基礎知識、観光マーケティングの基礎知識等、観光ビジネスに必要な基本的知識を問います。